

2023年10-12月期 GDP1 次速報予測

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長:藪田健二)は、内閣府より2月15日(木)に公表予定の2023年10-12月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。

2023年10-12月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.6%(年率+2.3%)と予測します。

2023年10-12月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.6%(年率+2.3%)と、プラス成長を予測する。

プラス成長に最も寄与したのは外需(前期比寄与度+0.5%ポイント)である。輸出は、季節調整済前期比+2.4%と予測する。財輸出の増勢が鈍化したものの、サービス輸出が大幅に増加した。インバウンド消費の拡大傾向が継続していることに加え、大口の知的財産権等使用料受取という一時的要因も重なった。

一方、内需は前期比寄与度+0.1%ポイントにとどまるとみる。民間最終消費は、季節調整済前期比+0.1%と予測する。消費者マインドの改善を背景に減少に歯止めがかかるものの、物価高が続くなかで小幅な伸びにとどまるだろう。設備投資は、同+0.1%と予測する。大型の建設投資案件一服から、伸び率は下押しされたものの、デジタルトランスフォーメーション(DX)・サプライチェーン強靱化・省力化などを目的とした企業の設備投資は拡大傾向にあるとみる。

図表 2023年10-12月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比(%)		2022年		2023年		
		10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 予測
実質GDP		0.2	1.2	0.9	▲0.7	0.6
	季調済前期比年率	(1.0)	(5.0)	(3.6)	(▲2.9)	(2.3)
民間最終消費		0.0	0.9	▲0.6	▲0.2	0.1
民間住宅投資		0.7	0.3	1.7	▲0.5	▲0.4
民間企業設備投資		▲0.8	1.8	▲1.3	▲0.4	0.1
民間在庫	寄与度	▲0.2	0.7	▲0.3	▲0.5	0.0
政府最終消費		0.5	0.2	▲0.1	0.3	0.1
公的固定資本形成		▲0.1	1.9	1.5	▲0.8	▲0.3
財・サービス輸出		1.5	▲3.6	3.8	0.4	2.4
財・サービス輸入		▲0.7	▲1.5	▲3.3	0.8	0.0
内需	寄与度	▲0.2	1.6	▲0.7	▲0.6	0.1
民需	寄与度	▲0.4	1.5	▲0.8	▲0.6	0.1
公需	寄与度	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0
外需	寄与度	0.4	▲0.4	1.6	▲0.1	0.5
名目GDP		1.7	2.2	2.6	0.0	1.0
	季調済前期比年率	(7.0)	(9.3)	(10.7)	(0.0)	(3.9)
GDPデフレーター	前年同期比	1.5	2.3	3.8	5.3	3.8
国内需要デフレーター	前年同期比	3.6	3.2	2.7	2.6	2.3

注:シャドー部分が今回の予測値。

出所:実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済センター 堂本健太 田中嵩大
電話:03-6858-2717 メール:pecmacro@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

グループ広報部
メール:media@mri.co.jp
